

地域の会



▲第86回定例会（柏崎原子力広報センター）



◀第85回定例会（柏崎原子力広報センター）

CONTENTS

第85回定例会
1・5号機の現状報告と
保安活動総合評価について説明を受け質疑応答 ……………2

第86回定例会
防災計画見直し、
原子力防災訓練の概要説明を受けて質疑応答 ……………3

発電所を巡る主な動き
地域の会に寄せられた声「みんなの広場」 ……………4

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会（「地域の会」）

柏崎刈羽地域では、現に存在する原子力発電所と対峙して生活せざるを得ません。それが事故無く稼動することは、個々の考え・主張の如何によらず、住民の最低かつ共通の思いです。

「地域の会」では、発電所そのものの賛否はひとまず置いて、安全運転に係る事業者や行政当局の必要にして十分な情報提供に基づき、発電所の安全について状況を確認し、地域住民の素朴な視線による監視活動を行うとともに、必要な提言を行うことを目的に、平成15年5月に発足、設置趣旨に沿った様々な活動を行っています。

地域の会 概要

- ①会員は、柏崎市、刈羽村に在住し、会が認める各種団体および地域の推薦を受けた24名の委員で構成。任期は2年。
- ②会の任務：(1)原子力発電所の運転状況及び影響等の確認・監視
(2)事業者等への提言
(3)会での議論、活動等の住民への情報提供
(4)委員の研修
(5)その他会の目的を達成するために必要と認められる事項
- ③県、市、村、国、事業者はオブザーバー、又は説明者として出席
- ④会議の種類：定例会（毎月1回）
臨時会（必要に応じ開催）
※会は、原則すべて公開。

第85回定例会

1.5号機の現状報告と保安活動総合評価について説明を受け質疑応答

第85回定例会の概要

開催日	平成22年7月7日(水)
場所	柏崎原子力広報センター(研修室)
出席者	21名(欠席3名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 保安検査官事務所(保安院)、 地域担当官事務所(エネ庁)、東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●1.5号機の現状報告 ●保安活動総合評価について ●質疑応答 他



度がある。周知の徹底状況はどうか。県、保安院へどのくらい申告が寄せられているのか。

保安院 国は内部申告者が不利益にならないよう保護制度を整備している。発電所内には制度を知らせるポスターが貼ってあり誰もが知っている。柏崎刈羽でも昨年、制度に基づく申告があり、評価し調査した結果問題がなかったことを紹介している。申告の評価・調査の結果は公表している。

新潟県 内部告発の電話は年間1、2件ある。告発は重要案件として対応している。



【前回定例会(6月2日)における質問についての回答】

●事業者が届け出る保全計画について国は保全項目を示さないのか。

保安院 保全計画制度は、定期検査が始まるときに事業者の保全活動が継続的に改善されることを国が確認する仕組み。保全の項目は保全活動管理指標の設定、監視計画の策定及び監視等の12項目があり、国が認可する保安規定に定められている。今回は、地震のためプラントを長期停止したため特別な保全計画を追加して提出させることとしている。

前回定例会以降の動き、1.5号機の現状報告及び平成21年度保安活動総合評価(試行)について説明を受け質疑応答。

【質疑応答】

Q 国際的には安全性に対する日本の評価は高いとのことだが何が根拠か。

保安院 安全を純粹・正確に評価した結果である。原子力事業者の保安活動を総合的に評価する事は世界的な流れで、日本では今回安全重要度評価(以下SDP評価)と安全実績指標評価(以下PI評価)を基に保安活動総合評価を導入した。この評価法を先行して導入したアメリカと比べ日本の原子力発電所の実績は高い水準である。なお、評価の基準は日本と外国では違う。日本の方が厳しい基準で評価をしている。

※安全重要度評価(SDP評価)は、検査・審査の指摘事項等の安全重要度を5段階で評価するもの

※安全実績指標評価(PI評価)は、停止回数、個人線量等を指標毎に設定した基準値と比較して4段階で評価するもの

なお、両評価ともに評価段階毎に色分けし、視覚的にも判り易い。

Q 数々の保守管理の不備が発覚した島根原子力発電所のPI評価がないのはなぜか。評価保留にも色をつけるべきでないか。

保安院 島根の不適合事象発覚が3月30日だったため、現在、検査や報告書を提出させた。それらを踏まえてSDP評価について議論がなされているところ。どの程度の重い内容なのか検証がきちんと終わってから国内の54プラントすべての色づけも含めた評価をする。

Q 保安活動総合評価を基に定期点検の間隔を延ばそうとしているのか。

保安院 評価結果が定期点検の間隔と直接リンクするものではない。

Q 原子力施設に係る内部申告制



【その他の質疑応答】

Q 今年の原子力防災訓練について、わかっている範囲で内容を聞かせてほしい。

新潟県 5年ぶりの訓練なので基本的なことをもう一度みんなで確認する。ような訓練にしたい。複合災害については、例えば自然災害が起きている最中に原子力災害が起きるといふ想定で検討している。

【各委員からの意見・要望】

- 安全対策の説明を聞いて安心した。図表で表すことはわかりやすくよかった。
- 内部告発に関して、同じ社内で協力企業とともにいい職場の中でチームワークを作ってもらいたい。また国、県も含めきちんと対応してもらいたい。
- 保安活動総合評価は良くできた制度だ。交通安全の点数制度に似ていると感じた。
- 火災の頻発など軽微なものについてどのように対処するのか興味がある。
- 「保安活動総合評価」というネーミングではどういふことかわかりづらいという感想を持った。
- 原子力防災訓練について複合災害を想定した内容を盛り込んでほしい。
- 地域住民と一緒に原子力防災訓練を行うのであれば日程をできるだけ早く決めるべきだ。



第86回定例会

防災計画見直し、原子力防災訓練の概要説明を受けて質疑応答

第86回定例会の概要

開催日	平成22年8月4日(水)
場所	柏崎原子力広報センター(研修室)
出席者	20名(欠席4名)
オブザーバー	新潟県、柏崎市、刈羽村 保安検査官事務所(保安院)、 地域担当官事務所(エネ庁)、東京電力(株)
内容	●前回定例会以降の動き ●防災計画見直し、原子力防災訓練の概要説明 ●質疑応答 他

前回定例会以降の動き、防災計画見直し及び原子力防災訓練について概要説明を受けて質疑応答。

【県原子力防災訓練の概要】

- ・実施日 平成22年11月5日(金)
- ・内容 一部の住民参加の避難訓練、防災行政無線・広報車による広報活動、緊急車両を動かした患者搬送訓練などを実施(詳細は、別途チラシで広報)

【質疑応答】

Q 防災計画では避難先が明記されていない地区があるので事前に決めてほしい。また自家用車での避難はどうするのか。避難に際し個人情報情報の取扱いはどのようにするのか。

新潟県 例えば、長岡市方面県指定避難場所のように具体的に明記されていない地区については、災害の状況、人数に応じて県が隣接市町村への対応も含め調整する。

柏崎市 自家用車避難は、現在全地



区で災害時要援護者調査を行い、これをもとに各地区の自主防災会で要援護者などの支援体制づくりをお願いしており、その中で対応する。

なお、同意の得られた災害時要援護者については自主防災会、消防団、市でその個人情報共有する体制。

Q 防災計画、避難基本計画のE P Zとはなにか。

新潟県 国の原子力安全委員会が防災指針で定めた防災対策を重点的に充実すべき範囲(Emergency Planning Zone)。原子力発電所の場合、8〜10 km以内としており、新潟県では10 kmとしている。

Q 避難誘導体制の中に、陸路に加え空輸、海上輸送などによる搬送の検討とあるが、大雪の想定はしないのか。

新潟県 災害の状況によっては空や海からも輸送することを計画に盛り込んだ。

Q 水害など他の複合災害に対する具体的な計画はいつまとめるのか。

新潟県 中越地震、中越沖地震をふまえ昨年、複合災害時対応整備計画を作った。今回はこれを元に大雪を想定し訓練を行う。この訓練と、一般防災訓練や水害訓練等の経験から常に問題点を見つけ計画に反映させる。

Q 放射性物質が放出されるとの訓練想定だが、放射性物質を吸い込まないような対策をして避難する必要があるのではないか。

新潟県 防災計画では放射性物質が放出する前に住民の避難、退避を完了させる。今回は5年ぶりの訓練であり、基本的な事項を改めて確認することを主な目的としている。

Q 防災の基本である自助、共助の考え方を計画に明記できないか。

新潟県 住民一人ひとりがどのように行動し避難するかは非常に重要なこと。原子力防災のパンフレットを配るなどして防災や避難の知識の向上に努めているが更に検討する。



【各委員からの意見・要望】

●複合災害時下で様々な状況を考えれば避難が遅れる。放射能が漂っている中で訓練想定が実際の放射能の取り込みを最小限に抑えることも考えるべき。

●防災の基本は自助、共助、公助。訓練の中で公がやるべきことは情報をきちんと出し、伝えること。原子力に関して公が前面に出て指示する面が強い。自助、共助が優先するような考え方で組み合わせ必要がある。

●防災訓練の計画の中に、原子力災害がどのように進むのか時系列で市民に知らせてほしい。また緊急時には交通網(高速道路)をフリーにしてほしい。いざというときに市民が冷静に行動できる事前準備や訓練であってほしい。

●情報伝達の方法には安心情報、危険情報と2つある。防災行政無線などの伝達の方法、情報伝達のマニュアルを精査してほしい。

●E P Zの10 km圏を広げることができないことが非常に問題。もう少し拡大するべきではないか。本日に防災計画がこれでもいいのかと考えるべきである。

●地域防災では消防団の役割も大きい。任務の内容がよくわからない。消防団員への教育を更に充実してマニュアルも作ってほしい。

●原子力災害時、建設業界は災害協定を基に対応するが従業員などの運用ができるか課題だ。

●どこで原子力災害にあうかわからないので、どこに行けばよいか判るものを作してほしい。

●5年ぶりの訓練というが内容がワンパ

ターンに思える。マンネリ化した訓練にならないよう期待したい。実際の場合、道路が渋滞するおそれもある。県は公安委員会とも連携をとり対応してほしい。

●訓練は絶えずやってほしい。また防災計画を作るに当たり原子力災害に対する関心を高め、原子力の情報をもっと出してほしい。

●非常時に道路が本当に通れるのか、避難ができるのか疑問を抱いている。防災計画が住民に理解され実施されるのか疑問。

●有事の際の連絡はどのように行われるのかよくわかっていない住民が多い。指示を的確に、情報を出すタイミングをしつかりとやってほしい。

●一次的な避難所にいかに集まれるかが大事。その受け入れ態勢だけじゃきちんとして行われないといけない。

●モニタリングシステムを増やしてほしい。

【その他の質疑応答】

Q 昨年まで夏には電気予報をやっていたが現在の電力需給状況はどうか。
東京電力 7月23日5999万kwが最大。(8月4日現在)今年は今供給力に余裕があることなどから行っていない。



発電所を巡る主な動き (6月3日~8月4日)

- 6月3日 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「原子炉圧力上昇(約35MPa)後の評価について」公表
- 中国電力株式会社島根原子力発電所の保守管理の不備等の報告に係る当社確認結果報告書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について公表
- 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 4日 4号機 主排気ダクト付近(屋外)における人が人の発生について公表
- 5日 新潟県 柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく状況確認
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「原子炉圧力上昇(約70MPa)後の評価について」公表
- 6日 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「発電開始について」公表
- 保安院 平成21年度第4四半期の定期検査結果等を内閣府原子力安全委員会へ報告
- 7日 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「発電機出力約20%の状態における評価について」公表
- 8日 保安院 5号機の設備健全性及び耐震安全性の確認のため立入検査及びワーキンググループによる現地調査実施
- 9日 新潟県 技術委員会(設備健全性、耐震安全性に関する小委員会)開催
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「発電機出力約50%の状態における評価について」公表
- 5号機における「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う耐震安全性評価結果報告書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について公表
- 5号機に関する新潟県中越沖地震後の設備健全性に係るプラント全体の機能試験・評価計画書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について公表
- 10日 新潟県 柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく月例状況確認
- 11日 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「発電機出力約75%の状態における評価について」公表
- 14日 保安院 1号機の機能試験に対する原子力安全委員会施設健全性評価委員会の現地視察において確認状況を説明
- 保安院 5号機の建物・構築物の健全性評価について原子力安全委員会に報告
- 保安院 原子力発電所の保安活動総合評価(試行的)の実施結果を公表
- 15日 保安院 東京電力の保安規定の変更認可申請を認可
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「発電機出力100%の状態における評価について」公表
- 17日 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「定格熱出力到達後の評価について」公表
- 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 新潟県 技術委員会(設備健全性、耐震安全性に関する小委員会)開催
- 23日 保安院 耐震・構造設計小委員会(構造WG)開催
- 2号機 原子炉建屋(管理区域)における人が人の発生について公表
- 25日 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「系統機能試験終了後の評価について」公表
- 7月1日 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 5日 5号機 サビ入建屋(非管理区域)における人が人の発生について公表
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験の進捗状況について「最終評価について」公表
- 1号機 新潟県中越沖地震後のプラント全体の機能試験(起動試験)実施状況について公表
- 7日 新潟県 技術委員会(設備健全性、耐震安全性に関する小委員会)開催
- 1号機 新潟県中越沖地震後の設備健全性に係るプラント全体の機能試験・評価報告書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について公表
- 8日 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 9日 屋外作業にともなう病人の発生について公表
- 12日 新潟県 柏崎市、刈羽村 安全協定に基づく月例状況確認
- 13日 保安院 2号機の立入検査及び構造ワーキンググループによる現地調査実施
- 保安院 中越沖地震における原子炉施設に関する調査・対策委員会(設備健全性評価サブWG)開催
- 15日 保安院 1号機の設備健全性評価について原子力安全委員会に報告
- 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 16日 保安院 耐震・構造設計小委員会(構造WG)開催
- 中国電力株式会社島根原子力発電所の保守管理の不備等の最終報告に係る当社確認結果報告書の経済産業省原子力安全・保安院への提出について公表
- 21日 保安院 柏崎市長へ1号機の安全性の確認結果等説明
- 新潟県 安全管理に関する技術委員会開催
- 22日 保安院 柏崎市議会へ1号機の安全性の確認結果等説明
- 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 23日 保安院 東京電力に7号機の定期検査終了証を交付
- 保安院 耐震・構造設計小委員会(構造WG)開催
- 保安院 刈羽村議会へ1号機の安全性の確認結果等説明
- 7号機の営業運転再開について公表
- 26日 発電所構内(屋外)における蜂刺害について公表
- 27日 新潟県 技術委員会(設備健全性、耐震安全性に関する小委員会)開催
- 29日 保安院 平成22年度第1四半期の保安検査結果等を内閣府原子力安全委員会へ報告
- 保安院 放射性廃棄物の管理状況等公表
- 当社原子力発電所における放射性廃棄物処理系排水管の誤接続に関する根本原因と再発防止対策について公表
- 新潟県中越沖地震後の点検・復旧作業の状況について公表
- 30日 1号機の総合負荷性能検査の受検日程について公表
- 保安院 1号機のプラント全体試験の安全性の確認状況について「新聞折込みチラシ」を配布
- 保安院 耐震・構造設計小委員会(構造WG)開催
- 3日 3号機 原子炉建屋(管理区域)における人が人の発生について公表
- 8月2日 3号機の炉心性能計算機プログラムの計算式における一部誤りについて公表
- 4日 保安院 東京電力に1号機の定期検査終了証を交付
- 新潟県中越沖地震後の1号機の営業運転再開について公表

※号機のみ記載は柏崎刈羽原子力発電所分
 ■色は東京電力の動き ■色は行政の動き



今昔物語…?

柏崎市 田谷 フミさん

平成21年、「アッ!停電だ!」外はピューピュー寒い真冬の夜の出来事。復旧を尋ねたら未定との回答。1時間位経って電気がついた。その有り難さに、皆で拍手!

今から40年位前までは浜の寄り木(流木)や薪で食事の煮炊や風呂を沸かしたものだ。当時は発泡スチロールや対岸から流れ着く物もなく、女・子供は浜の寄り木(流木)を拾っては積んで山にし、オウガ城を作っていたのを覚えている。だから常に海岸はきれいで、浜掃除などはなかった。思い出すと懐かしく、出来れば昔に戻りたいが、この様に生活水準が上がっては不可能だと思う。

そういえば、私達が子供の頃、社会科で日本の油田は秋田と西山だと習った覚えがある。今は世界の原子力発電所の立地、柏崎はエネルギー産地として昔も今も貴重な地である。

自然エネルギーも沢山研究され除々に実用化されているが、貯めることの出来ない電気は、CO₂の少ない原子力に頼るしかないかとも思う。(目に見えないのが玉にキズ)

事あるごとに、行政・事業者へ絶対安全・絶対安心を訴え、常に目を光らせながら監視したいと思う。

一人一人がCO₂削減を念頭に努力し、明るく住みよい柏崎にしたいものだ。

先日、TVで大手住宅建設会社が、バッテリー付住宅を開発し実用化したと言う明るいニュースを観た。

地域の会に寄せられた声 みんなの広場

「みんなの広場」への投稿をお待ちしています。

原子力発電に対する思いは、賛成、中立、反対、また、その思いの強さ等もいろいろなお考えをお持ちと思います。「地域の会」では、地域住民の皆様からのご意見をお待ちしています。

[投稿要領]

- テーマ** 「原子力発電に関すること」「地域の会に対するご意見、要望、提言」など
- 文字数** 600字程度
- 投稿方法** 郵送、FAX、電子メール、等で下記「地域の会」事務局宛にお送り願います。
- その他** お名前と顔写真を掲載させていただきます。詳細等お問い合わせは「地域の会」事務局までご連絡願います。

■今後の「地域の会」定例会の開催案内■

第89回定例会 日時:平成22年11月10日(水)午後6:30~ 場所:柏崎原子力広報センター(研修室)	第90回定例会 日時:平成22年12月1日(水)午後6:30~ 場所:柏崎原子力広報センター(研修室)
---	--

※開催日時や場所は変更になる場合がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせ願います。

会は公開で行われています。傍聴はお気軽にお越し下さい。

地域の会ではホームページで活動の全てを公開しています。

ホームページでは活動状況をタイムリーにお知らせすると共に、会議録、会議資料の全文を公開しており、資料をダウンロードすることもできます。

また、ホームページおよび地域の会に対するご意見・お問合わせについて、ホームページ上からも受け付けています。

<http://www.tiikinokai.jp>

編集後記

今年の酷暑は記録的で、多くの熱中症の患者も発生した。暑さ対策としてはクーラーしか思い浮かばないが、電気が払えず熱中症で死亡した老人のことも報道されていた。3年前の地震直後の夏がもし酷暑だったらと、考えただけでぞっとする。改めて電気の供給確保も重要だと感じた。さて、発電所の復旧は途上だが着実に進展しているようだ。技術的専門的な問題はその道の専門家の判断を信頼するしかない。また、具体的な発電所の安全確保も技術者と工事関係者の誠意を信じるしかない。周辺住民としては見守るしかないわけだが、せめて関心を持ちつつける努力は怠ってはならない。地域の会の存在理由もその辺に有るようにも思える。賛成反対色々な意見があるが、原子力と真摯に向き合い続けなければいつか実りある共生が実現できると信じて、今後も委員活動を手抜きせずがんばろうと思う今日この頃です。

(運営委員 前田)